

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/05/07号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 中東地政学リスクの緩和期待で80ドル割れ

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台後半まで値下がりする展開になった。イスラエルとハマスの休戦協議の行方が注目される中、ファンドの手仕舞い売りが優勢になった。休戦合意は実現可能との見方が強まり、地政学リスクのプレミアムが剥落している。米原油在庫が予想外の急増になったことも嫌気され、3月13日以来の安値を更新する展開になった。

イスラエルとハマスの休戦協議がエジプトなどの仲介で本格化した。第一段階として40日間戦闘を休止し、イスラエルが捕虜、ハマスは人質を段階的に開放する案が協議されている。イスラエルとハマスの双方から前向きなメッセージが発せられていることが、原油相場の値下がり圧力に直結している。5月3日の取引までに合意に達することはできず、実際に合意できるのか不透明感も残されているが、原油市場では休戦合意を前提とした売買が優勢だった。期近限月のプレミアム剥落が急速に進んだ。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (4月26日時点) は、原油が前週727万バレル増、ガソリンが34万バレル増、石油精製品が73万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## イスラエル=ハマス休戦合意だと一段安も

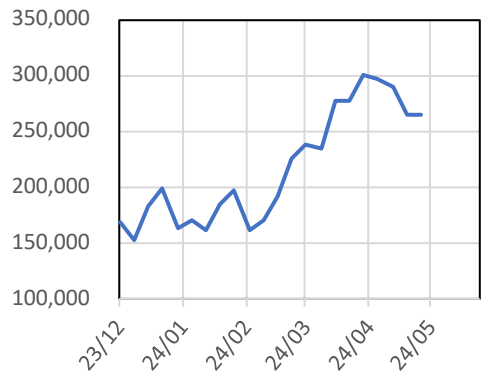
中東情勢が注目される。イスラエルとハマスの休戦合意が実現すると、ファンドの持高調整が更に進み、75ドルの節目を割り込む可能性もある。まだファンドは大量の買いポジションを保有しているだけに、持高調整を進める余地が残されている。短期的にはオーバーシュート気味の安値形成の可能性まで想定しておく必要がある。ただし、仮に休戦協議が決裂した場合には、一時的に80ドル台回復を打診しよう。マーケットは休戦合意の織り込みを進めてきただけに、協議決裂となるとサプライズ感が強い。いずれにしても結論が近く出る見通しであり、その結果次第で大きく揺れ動く展開になる。

一方で、イスラエルとハマスの休戦合意を前提にしても、本格的な値崩れまでは想定されていない。あくまでも地政学リスクのプレミアム剥落が中心であり、原油需給環境に大きな変化が生じる訳ではないためだ。今後はドライブシーズンに向かうことになるが、需給バランスは適度の引き締まりを維持する見通しにある。

また、石油輸出国機構（OPEC）プラスの動向にも注意が求められる。急ピッチな原油安を受けて、早くも自主減産延長の議論が浮上している。正式な協議は行われていない模様だが、7~9月期も自主減産が継続すると、需給の引き締まりが意識されやすくなる。

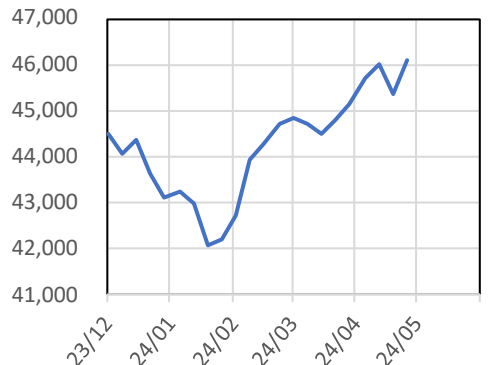
米エネルギー省（DOE）が戦略石油備蓄（SPR）増強に動く可能性にも注意が求められる。79ドル以下の価格水準でSPR向け原油の補填を行う方針が示されている。地政学環境が不安定化する中、SPRの水準回復が急がれていることは、原油相場の下落余地を限定する。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



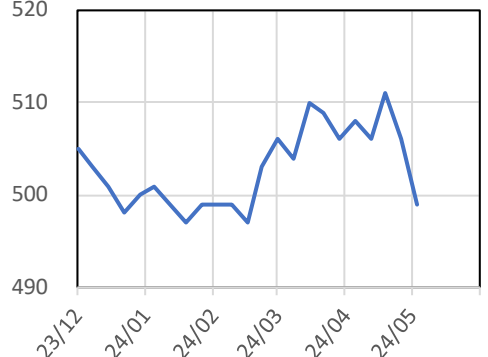
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

